

3月に新点数説明会

4月の診療報酬改定へ向け、協会は新点数説明会を3月に開く。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月21日は会員限定、3月26・27日は会員・スタッフ対象とする。従来は2000人規模の中央説明会を開いていたが、今回は定員・参加対象を制限して分散を図り、完全予約制で開く。

▼会員限定説明会

3月21日の「会員限定」説明会は午前・午後の2部制とし、大阪国際交流センターで開く。各部の定員は500人で、先着順で受け付けする。予約申し込みは2月4日～3月4日まで（詳細は8面参照）。

▼会員・スタッフ対象説明会

3月26・27日の「会員・スタッフ対象」説明会はM&Dホールを本会場に、各日府下3カ所をサテライト会場として開く。サテライト会場では本会場の映像を視聴して

受講する。定員は各日300人の予定で、先着順。詳細については後日、機関紙等で案内する。

◆「テキスト配布方法」

説明会で使用するテキスト「診療報酬改定の要点と解説」は、▽3月21日の申し込み者は会場で予約済みハガキと引き換え▽3月21日の参加者以外は郵送——で会員に1部配布する。

	【会員限定】 新点数説明会	【会員・スタッフ対象】 新点数説明会
日 時	3月21日（月・祝） 午前の部10:00～12:30 午後の部13:30～16:00	3月26日（土）18:30～20:30 3月27日（日）10:00～12:00 （4月にも開催予定）
会 場	大阪国際交流センター	本会場：M&Dホール サテライト会場：各日府下3会場
費 用	無料	無料（会員院所未入会勤務医1万円）
定 員	各部500人（先着順）	本会場・サテライト会場あわせて各日300人（先着順）
申 込	完全予約制	完全予約制
予約方法	WEB推奨（8面参照）	WEB推奨（詳細は後日掲載）
受付期間	2/4～3/4	順次案内
その他	・スタッフの参加は不可 ・受講は午前・午後いずれかのみ	・会場の詳細や申込方法については後日掲載

※テキストは▽3/21申し込み者は会場で「予約済みハガキ」と引き換え▽3/21参加者以外は郵送——で会員に1部配布します。
※新型コロナウイルスの感染状況によっては開催方法を変更することがあります。

入会をお勧めください



組織部長
玉川尚美

4月から診療報酬が改定されることを受け、協会は新点数説明会を開きます。今回は感染拡大防止対策を徹底しつつ、会場で質疑応答も実施しながら改定内容を分かりやすく解説します。この機会にぜひ勤務医やお知り合い、ご家族の先生に入会をお勧めください。

今号はPR号です

今号はPR号として会員以外の先生にもお届けしています。今後、送付が不要な場合は事務局までご連絡ください。Tel.06-6568-7731

感染対策の評価復活を

診療報酬改定でパブコメ提出

厚労省が1月14日～同日の期間で診療報酬改定のパブリックコメント（意見）を募集したことを受け、社会保障研究部は初再診料への施設基準の廃止や金パラ改定制度の改善、コロナ禍の感染対策への評価の復活などの意見を提出した。会員にも呼びかけ、146人分の意見を集約し、あわせて同省へ届けた。

会員からは「金パラの保険での使用はもう限界」「施設基準による差別をなくして」「最低賃金が800円→1000円近くに上がったなら点数も25%アップして当然だ」「小機能は根拠に並ぶ赤字診療」「感染防止対策は常時必要で過剰な出費。国の支援をお願いします」などの痛切な声が寄せられた。

完全予約制で開きます

3/21（月・祝）会員限定

3/26（土）3/27（日）会員・スタッフ対象



2/5
2022年第1417号
（毎月5、15、25日発行）



一般社団法人
大阪ファルマプラン
理事長 廣田憲威氏

後発医薬品メーカーの不祥事

薬機法違反問題を考える③

患者・医療従事者は
実態を知らない

小林化工の問題を受けて、同社の全製品の出荷が停止され、感染症治療のキートラックであるバンコマイシンも該当した（なお、これについては業界内で過半数のシェアが

あることから、福井県も業務停止処分の対象外にするといった異例の対応とされた。バンコマイシンもイトラコナゾール錠と同様に、添付文書上では、製造販売元が小林化工で、販売元がMeiji Seikaファルマと記載されているが、よくよく調べてみるとバンコマイシンについては、原薬（主成分）は小林化工が調達し、実際のバイアルに充填

することから、福井県も業務停止処分の対象外にするといった異例の対応とされた。バンコマイシンもイトラコナゾール錠と同様に、添付文書上では、製造販売元が小林化工で、販売元がMeiji Seikaファルマと記載されているが、よくよく調べてみるとバンコマイシンについては、原薬（主成分）は小林化工が調達し、実際のバイアルに充填

多くの国民・患者や医療従事者は、こうした実態についてはほとんど知らないし、知らされてはいない。特に、武田薬品や塩野義製薬、アステ

ラスなど、日本を代表する製薬企業が販売する医薬品については、自社で製造から販売まで行っていると思われているかもしれないが、実態は必ずしもそうではない。薬剤師が製薬企業に実際の製造元を照会しても「非開示情報」としてほとんど明らかにされない実態がある（注：最近では改善されている）。

私たちが薬剤師が品質を評価しているとき、添加剤や生物学的同等性のデータが全く同じと判断される製剤を見ることがある。その詳細を精査すると、1社が製造したジェネリック医薬品が数社に供給されているのだ。医薬品業界においてジェネリックは常態となつて

過大な負荷生む受託製造

このことと今回の問題がどうかかっているのか。

OEM供給に拍車がかかり過大な負荷

工場で年間1019品目・185億錠も製造しており、その中のOEMで供給している割合は開示されていない。

ジェネリックOEM (Original Equipment Manufacturing) (OEM)

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467
共 済 部 06-6568-7438

歯界

24節気では2月4日は立春だが、まだまだ寒い。統計では1月後半が一番寒く、2月に入ると気温が上昇してくるといいますが、春の気配を実感できるようになるのは啓蛰（けいちつ）の頃合いか。

岸田首相は任期中の改憲を掲げ、「敵基地攻撃能力」の保有の検討まで宣言した。改憲派である安倍・菅路線を継承し、長期政権を目指す上での手段の一つでもあるのだろう。

相手の動きを察知して先手を打つ政府の「敵基地攻撃」は、国際法違反の先制攻撃そのものである。専守防衛という平和主義の大原則を覆せば、周辺地域に新たな火種を持ち込むことになる。

憲法施行75年を前に、国会では地中の虫がはい出したかのごとく改憲論議を進めようとしている。「地上」では変異株が拡大し、物価上昇や貧困と格差の拡大など、春はまだまだ遠い。改憲よりも、風雪に耐える国民の命と生活を守ることを最優先事項だろう。

(Y)